

【韓国】日本関係の国会決議（2023年11月～12月）

2023年11月から12月にかけて、韓国国会において、日本に関連する決議案4件が可決された。それぞれの概要は、次のとおりである。決議案の題名の前の番号は、議案番号である。

①「[2125087] 大韓民国の明白な独島領有権を確認し日本の独島領有権主張及び教科書歴史歪曲を糾弾する決議案」。2023年11月9日、在席議員（268人）全員の賛成で可決された（なお、韓国国会の議員定数は300人である。）。この決議は、日本政府が、竹島を日本の領土と記述するなどした小学校社会科の教科書を検定、承認したことを糾弾するとともに、日本政府の外交青書等における竹島領有権の主張を撤回することを求める等の内容となっている。

②「[2120611] 日本政府の韓日大陸棚共同開発協定の早急の履行及び実質的な履行方策〔方策〕の整備を求める決議案」（〔〕内の語句は筆者による補記である。）。2023年11月30日、在席議員（261人）のうち258人の賛成で可決された。この決議では、日韓大陸棚協定に関し、日本政府に対して、日韓共同委員会開催等の協定の履行を早期に行うことを求めた。また、日韓両政府に対し、協定の実質的な履行方策をまとめ、開発区域における探査及び開発が持続可能なものとなるように外交的努力を行うこと等を求めている。

③「[2124426] 関東大地震の朝鮮人虐殺事件に対する日本政府の真相糾明及び謝罪を求める決議案」。②の決議案と同日の2023年11月30日、在席議員（260人）全員の賛成で可決された。この決議は、日本政府に対し、関東大震災当時の朝鮮人虐殺事件に関し、公式に謝罪すること及び真相糾明に取り組むこと等を求め、韓国政府に対しても、真相糾明のために積極的に努力することを求める内容となっている。

④「[2124297] 東海表記を求める決議案」。2023年12月8日、在席議員（160人）全員の賛成で可決された。この決議では、日本政府に対し、東海（トンヘ）表記を受け入れることを求め、韓国政府に対しては、国際社会で東海表記が実現され得るように外交的努力をすることを求めている。

海外立法情報課・中村 穂佳

- ・ https://likms.assembly.go.kr/bill/billDetail.do?billId=PRC_L2Z3E0W9K2B0K2M0B1A1Y5L5N6U0Z8
- ・ https://likms.assembly.go.kr/bill/billDetail.do?billId=PRC_M2K3S0R3S0Q9P1X6Y2X9Y3W1F8D7C3
- ・ https://likms.assembly.go.kr/bill/billDetail.do?billId=PRC_M2T3V0T9T1S1Q1R0Y2Z4X5Y8W1X9V9
- ・ https://likms.assembly.go.kr/bill/billDetail.do?billId=PRC_H2G3G0C9C0A5B1A5Y1Z5G0H7F0G5E6